

2024（令和6）年度東北大学法科大学院入学試験 一般選抜（後期）
試験科目：民事法（民法）

以下の【第1問】から【第5問】までのすべての問いに答えなさい。

【第1問】（解答は7行程度で行いなさい。）

Aは、Bに対し、Cが所有する絵画αを購入するための代理権を与えた。Bは、Cとの間で、「A代理人B」と名乗らず、単に「A」と名乗って、絵画αの売買契約を締結した。この契約の効力はAに帰属するか。

【第2問】（解答は7行程度で行いなさい。）

Dは、Eに甲建物を賃貸していたが、DE間の賃貸借契約は適法に解除された。しかし、Eは、解除の事実を知らず、甲建物に外壁塗装工事等の有益費を支出した。Dが甲建物の返還を求めたのに対し、Eは、留置権を行使して、有益費の償還を受けるまでDへの返還を拒むと主張した。Eの主張は認められるか。

【第3問】（解答は5行程度で行いなさい。）

免責の債務引受（民法472条）については、これを債務者と引受人となる者との契約によってする場合には、債権者が引受人となる者に対して「承諾」することを要するとされる（同条3項）一方、債権者と引受人となる者との契約によってする場合には、債権者が債務者に対して「通知」した時にその効力を生ずる（同条2項）とされる。これらの規律において、「承諾」と「通知」という違いがある理由を説明しなさい。

【第4問】（解答は3行程度で行いなさい。）

委任契約はいつでも解除をすることができるとされる（民法651条1項）。このような規律がなされている理由を説明しなさい。同条2項の規律の内容や趣旨には言及しなくてよい。

【第5問】（解答は5行程度で行いなさい。）

Fが死亡した。Fには配偶者Gと子H及びIがおり、Hには子Jがいる。Hは、Fの相続を放棄した。この場合の相続人は誰か、また、それぞれの法定相続分の割合はどうか、答えなさい。

以上